発言No. 1

受付No. 6
令和 6 年 8 月 21 日
2 時 18 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番 氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者（口をつける）
市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

8/1 に開催された島根県市議会議長会主催の議員研修会(講師:佐々木淳ドクター)において『超高齢社会に求められる地域医療のかたち』と題して、「医療依存度から、家族や友人・地域の社会資本などケアへの依存」と「高齢者健康寿命から社会参加寿命の推進」の視点で講演を聞いた。高齢者への診療経験から 14 項目の考察を導かれており、大変参考となる研修であった。その研修を踏まえ、かつ、会派の視察研修における他市の取組を参考に、当市の地域が元気になる仕組みづくりについて質す。

1 地域が元気になる仕組みづくりについて (SDGs11)

(1)漁港の朝市について

千葉県いすみ市では、H24 年市長の指示によって、市と商工会が起点となって「港の朝市」運営委員会を設立。日曜日の午前中に限定して、大原漁港内で運営している。生鮮魚介類や干物、生鮮野菜、果物などの地元特産品や農水産商工産品を豊富にそろえ、現在年間約 10 万人の客数と 1 億 2000 万円の売上をあげている。

① 浜田市における地域の朝市等の開催状況を問う。
② はまだお魚市場周辺のイベントの開催状況を問う。

(2)高齢者等買い物支援対策事業について

いすみ市では、高齢化や事業後継者不足などの影響から商店街が衰退し、個人で経営していた食品や生活雑貨販売のスーパーや商店などが大型スーパーなどの進出により閉店したため、令和 3 年から高齢者等への買い物支援の取組を行っている。現在、ドラッグストアやかかりつけ薬局、在宅医療、介護サービスとスーパーマーケット、スポーツ用品販売などを展開する『ヤックス』が「ヤックスの移動販売スーパー」として新たな事業として開始している。

① 浜田市における移動販売の状況を問う。
② 高齢者の買い物支援の状況を問う。

(3)オーガニックビレッジの取組について

化学肥料や農薬を使わない有機食材を給食に取り入れる動きが広がりつつある。いすみ市では有機栽培を行う農家（小さな営農組合「農事組合法人みやねの里」）を支援し、２０１７年１０月から学校給食をすべて有機米に変え、２０２２年から給食費の無償化を実施している。

① 浜田市における有機農業の取組状況を問う。

② オーガニック給食の実施について所見を問う。

(4)浜田郷土資料館の建替について

東京都練馬区にある石神井公園ふるさと文化館は、伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する生涯学習施設として、練馬区立石神井プール敷地に２０１０年に古民家「旧内田家住宅」とともに開設された。

① 郷土資料館建替に一定の方向性が示されているが、他の分野の展示物との併設展示の可能性を問う。

② 視察から郷土資料の保全展示の必要を感じる。郷土資料館の集客力をあげる方策を問う。

２　これからの安全安心対策について　(SDGs9)

(1)能登半島地震からの課題について

① 1/1 に発生した能登半島地震では老朽化した水道管への甚大な被害により長時間の断水が起こった。同様な事態を防ぐためにも、耐震化の更新速度を速める対策が必要と思うが所見を問う。

②能登半島地震の震災を踏まえた取組が示されている。また先の南海トラフ地震の予測からも、地震災害に対応できる体制づくりの必要性を感じるが所見を問う。

(2)増える１人暮らしの高齢者対策について

8/14 地元新聞の「死後事務のニーズ拡大」と題して、身寄りのない高齢者が増え、また、誰にもみとられずに、自宅で亡くなる孤独死の増加から、人と人との関係が薄れる「無縁社会」に対する問題を定義する記事をみる。高齢者が安心して生活できる仕組みが必要と考える。

① 浜田市における１人暮らしの高齢者の状況を問う。

② 避難行動要支援者の避難支援についての所見を問う。

③個別避難計画の中に「高齢者身元保証等サポート」に関する記載を入れる仕組みについて見解を問う。

発言No. 2

受付No. 12
令和 6 年 8 月 22 日
9 時 29 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番　　氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者（○をつける） 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 乳幼児期の保育について

（1） 保育士について

今年度、76年ぶりに国の保育士の配置基準の見直しがされた。保育士1人あたりがみる子どもの人数は0歳児は3人、1歳児2歳児は6人、ここまでは変更がないが、3歳児は20人から15人に、4歳児5歳児は30人から25人になった。これによって保育士1人あたりがみる子どもの人数が少しだけ少なくなり、負担も減り、子ども達のことをより手厚く見守ることができる。しかしこれに伴い、保育士を増やす保育園も出てくることで保育士確保や保育士育成についてより一層考える必要がある。

① 以前から保育士不足について問題になっている。配置基準の変更があり、現在の浜田市の保育士不足の状況についてどのように認識しているか伺う。

② 保育士不足に対して市としてどのような対策を考えているか伺う。

（2） 支援や配慮が必要な子どもについて

① 放課後等デイサービスの利用者が毎年増えている。幼児期の早い段階での発見が必要であると考える。現在の検査体制について伺う。

（3） 保育園等乳幼児施設について

① 今後子どもが減少すると予想される中、保育園等乳幼児施設の存続が厳しくなると考えられる。市としての考えを伺う。

2. 若い世代が住みたいと思う浜田市について

（1） 若い世代が望む施設について

① 人口減少が続く中、浜田市においても若い世代が住みたくなる浜田を目指している。若い世代にとって住みたいと思う環境も必要である。どのような環境・施設が必要であると考えているか伺う。

（2） 若い世代が望むDXの推進について

① 今の社会においてDXの推進は不可欠である。若い世代にとっても住みたいと思う要因になると考える。今後、庁内職員で検討するチームを進めるということだが、内容について伺う。

3. 移住定住の推進について

（1） 移住定住の現状について

① 全国的にも島根県内でも移住定住にはどこも力を入れている。過去3年間の移住定住の件数について伺う。

② 増加するための施策についてR6年度に特に力を入れている事業について伺う。

以上

発言No. 3

受付No. 10
令和6年8月22日
9時15分　受付

一般質問発言通告書

議席番号　２０　番　　氏名　西田清久

答弁を求める者　[市長]　[教育長]　監査委員　選挙管理委員会委員長
（○をつける）　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

１　島根県西部、石見地域の政策連携について

石見地域は、広域で人口減少と経済流出が著しく、自治体間で刺激し合い切磋琢磨することも大事だと思うが、それぞれの自治体の強みを生かし、さらに連携した取組みを行うことが生き残るために重要と考える。

（１）スポーツ施設、大会誘致の考え方について

①　陸上競技や野球などスポーツの県レベルの大会が、近年東部で開催されることが多くなっているように思う。東部と西部の経済バランスや保護者負担を考えるとスポーツ施設の在り方の広域ビジョンについて、石見地域の自治体間で協議することが重要に思うが、所見を問う。

（２）広域連携での観光戦略について

①　石見地域の広域連携での観光戦略の現状を問う。

（３）石見地域一丸の経済対策について

①　石見地域の経済は疲弊し、地域内経済は流出の一途をたどっている。今こそ石見の自治体が一つになって協定を結ぶなど連携し、経済流出を少しでも食い止め、域外マネーの獲得を目指すための戦略会議を行うことも必要と考えるが、所見を問う。

2　石見神楽とツーリズムによる地域振興について

①　石見神楽は都市部の多くの人々に浸透しつつあり、追い風傾向にあると感じる。昨年の東京国立劇場や富岡八幡宮、大阪御堂筋などＰＲも行われ、来年の大阪万博の出演も予定されている。今後、県外や都市部からの誘客具体策を問う。

②　石見神楽は各地域に根付き、五穀豊穣や健康、学業、海の恵みに感謝など鎮守の森を背景とした各地域の各神社に奉納されている。この歴史が根付いた本物の神楽文化の体験こそが究極と考える。少人数でも毎年リピーターとして訪れる神楽ファンが増えることが、滞在型観光の推進、地域経済に寄与、地域や神楽団体の持続可能につながると考えるが、所見を問う。

3　三浦龍司選手の浜田市としての支援について

①　オリンピックの陸上競技3000m障害で2大会連続入賞の三浦龍司選手の快挙は、日本中の陸上競技関係者に衝撃をもたらした。これからの事も含め浜田市は、三浦龍司選手に対してどのような支援を考えているのか問う。

発言No. 4　　受付No. 15

令和６年　８月22日
10時 15分　受付

一　般　質　問　発　言　通　告　書

議席番号　１１　番　　氏名　小 川 稔 宏

答弁を求める者　（市長）（教育長）　監査委員　選挙管理委員会委員長
（○をつける）　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

発言項目及び要旨

１　訪問介護事業への公的支援について

ヘルパー離職や小規模訪問介護事業所の倒産、人材不足、待機利用者の増大が深刻化している。保険料を払ったのに利用できないとの懸念や危機感が広がっている。

（１）訪問介護の現状と課題について

①訪問介護の必要性について認識を伺う。

②浜田市内の事業者数の過去５年間の推移と４月以降の状況について伺う。

③介護人材確保と処遇改善のための支援についての考えを伺う。

④浜田市として今後どう対応していくのか考えを伺う

２　高齢者等買物支援における移動販売事業の役割について

移動販売等は高齢者見守りの役割もあり、自治体の積極的な関りが必要といわれている。中山間地のみならず、中心市街地でも買い物困難者は増加傾向にある。

（１）市内における移動販売事業の現状と課題について

①移動販売の実施状況について事業者数、対象地域・地区、巡回頻度等、概要を伺う。

②買い物困難者や困難地区の救済について市の考えを伺う。

③「見守り移動販売支援事業」「浜田市商業支援事業補助金」の２つの補助金対象事業者の課題について伺う。

④補助金を受けていない事業者の課題について伺う。

⑤全市的な観点から情報共有、連絡・調整のための協議会設置についての考えを伺う。

３　有機農業の推奨と学校給食について

先進地である千葉県いすみ市の会派視察をした。

（１）小規模有機農業の生産意欲向上と学校給食との関係について

①小規模農家の維持とオーガニック学校給食の関連性についての考え方を伺う。

②有機米や有機野菜の販路として学校給食という公共調達について市の考えを伺う。

（２）オーガニック給食推進と無償化に向けての課題について

①「学校給食有機米100%」実現についての教育部局と産業部局の認識を伺う。

②給食費無償化が全国で進んでいる現状をどのように受け止めているのか伺う。

発言No. 5

受付No. 18
令和6年8月22日
10時40分　受付

一　般　質　問　発　言　通　告　書

議席番号　1　番　　氏名　　肥後　孝俊

答弁を求める者（○をつける）　(市長) (教育長) 監査委員　選挙管理委員会委員長　農業委員会会長　固定資産評価審査委員会委員長　公平委員会委員長

近年の気温上昇に伴う暑熱環境による健康被害（熱中症や脱水症状など）を防ぎ、児童・生徒が安心して学習できる環境を作る必要性を共有するとともに、今年に入り居住区域で多発する鳥獣による人的被害を防ぐ、先駆的な取組みを創出するべきではないかとの思いで質問する。

1　小中学校へのエアコン導入について

(1) 特別教室へのエアコン導入の検討状況について

① 特別教室へのエアコン設置計画の進捗状況を伺う。

② 授業時間帯の特別教室内の暑さ指数を測定し、暑熱環境のリスクを把握しているのか伺う。

③ 児童生徒や教職員への健康面や学習面での影響について、ヒアリングは行われているのか伺う。

(2) 体育館へのエアコン導入の検討状況について

① 体育館へのエアコン設置状況について伺う。

② 体育館へのエアコン設置計画があるのか伺う。

③ 文科省が大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業（学校施設環境改善交付金）として、屋内運動場に空調を新設する場合は算定割合 1/2（令和 7 年度まで）とあるが、この補助制度を活用して空調設備の導入を検討されたのか伺う。

④ 災害時における指定避難所としての役割が体育館にはあるが、梅雨時や夏に浸水洪水被害が発生した際に、高温多湿の環境下で多くの避難者が過ごすという、快適ではない環境を予見するが、今のままで良いとの判断なのか伺う。

2　鳥獣被害防止のための果樹伐採補助制度に関する提案について

① 果樹を栽培する土地の所有者が高齢となり、適切な管理ができていないことが、鳥獣を人が住む範囲へ進出させる問題の一因と考えるが、どのように問題を把握しているのか伺う。

② 果樹伐採補助制度を市として創設してはどうかと考えるが見解を伺う。